

中学校第1学年 道徳 学習指導案

期 日 平成24年10月3日（水）第5校時

場 所 玉名市立有明中学校1年1組教室

指導者 教諭 白石 恵子

1 主題名 郷土の誇り[4－(8)郷土愛]

資料名 ご先祖様がつくった土地（出典 道徳教育用郷土資料「熊本の心」）

2 主題について

(1) ねらいとする内容項目について

今日、都市化あるいは過疎化の進行により、郷土に対する愛着や郷土意識が希薄になっている傾向が見られる。しかし生徒にとって地域社会は家庭や学校とともに大切な生活の場である。郷土を愛し、大切にしようという思いは、郷土について知ることから始まる。

長年にわたって郷土をつくりあげてきた伝統や文化を知り、先人や高齢者の苦勞と努力を知ること、先人への感謝が生まれ、郷土に対する誇り、郷土愛へとつながっていくであろう。さらに郷土愛は、生徒一人一人が、地域社会の一員であるという自覚を持ち、郷土の発展に努めようという意欲につながると考えられる。

郷土愛を育み、さらには自分の国の伝統、文化、他の国の文化を尊重する態度を育成したいと考え、本主題を設定した。

(2) 生徒の実態について

内容項目4－(8)に関する結果は以下の通りである。（N＝30 単位人 9月実施）

質 問 事 項	とても 思う	少し 思う	あまり 思わない	思わな い
自分のふるさとを好きだと感じる。	7	18	5	0
自分のふるさとを誇らしいと感じる。	5	18	5	2
自分のふるさとをよりよくしたいと感じる。	5	13	9	3
自分のふるさとをよりよくするには自分にも責任があると感じる。	7	18	4	1
自分のふるさとを発展させるために何かしていることはありますか。	している	5	していない	25

本校は、横島、大浜、豊水の3つの小学校区からなる。地域学習については社会科や総合的な学習の時間において横島小学校では、干拓工事について、大浜小学校では大浜飛行場、豊水小学校では神楽についてそれぞれ学んでいる。地域学習を通して郷土に対しての誇りを感じている生徒も多い。

「ふるさとが好き、誇りに思う」と答えた生徒は、その理由として「自然が多い」「農業や漁業が盛ん」「農作物がおいしい」「地域の人たちがやさしい」「地域の伝統・文化・行事がある」といったことをあげている。「好きだと思わない、誇りと思わない」と答えた生徒は「あまりふるさとのことを知らない」「ごみが落ちている」「店が遠い」「虫が多い」などを理由に挙げている。

「何かしていることはありますか」という質問に対し「している」と答えた生徒は「大きな声で笑顔であいさつしている」「地域のゴミ拾いをしている」をあげていた。「ふるさとの発展」についてはあまりイメージを持ちにくいようで、「していない」と答えた生徒が多く、今やっていることが地域の発展につながっていると気付いたり、ふるさとの発展のために自分には何ができるか考えていく必要がある。

(3) 資料について

本校校区である横島町、大浜町一帯は、現在、全国有数のイチゴとトマトの産地であるが、もともとは菊池川下流域に広がる干潟であった。肥後藩主・加藤清正の時代から干拓が繰り返され、農地を広げてきたのである。干拓地は台風や津波による堤防の決壊など、潮害を受けることも多い。地域の人々は堤防のことを、「度重なる潮害に見舞われながらも立ち上がり、生活を守ってきた「生き証人」である」として、保存に努めてきた。

本資料は、もう役目を終えた堤防の草刈りを続けるじいちゃんが、干拓の歴史を孫に語り、先祖の思いを伝えようとする話である。今の生活の基盤を作り上げてきた先祖の努力を決して忘れてはならないという地域の人々の思いに触れることで、郷土への愛情と、自分も郷土の発展に努めようという心情を養うことのできる資料である。

(4) 指導にあたって

- 導入では、保護者へのアンケート結果を用いて、「地域の発展」を具体的にとらえさせたい。「地域の発展」を経済、産業、福祉、人間関係などさまざまな面でとらえることで、じいちゃんや身のまわりの人、また生徒一人一人の行動が地域の発展につながることをイメージさせたい。
- 展開前半では、「堤防はもうその役目を終えているのに、じいちゃんはなぜ草刈りを続けているのだろう」と発問することで、じいちゃんの前祖への尊敬と感謝の気持ちに気付かせたい。また、先祖の思いを受け継ぎ行動するじいちゃんの姿から、「自分たちも先祖やじいちゃんの思いを受け継がなければならない」という気持ちを持たせたい。
- 展開後半では、自分たちの身のまわりを振り返る手立てとして、生徒へのアンケート結果を見せる。「ふるさとの発展のために何もしていない」と答えている生徒が多いが、今やっていることがふるさとの発展につながっていると気付いたり、地域社会の一員として自分に何ができるか、またその責任と役割を、4人グループの話し合いで考えさせたい。
- 終末では資料の中の「じいちゃん」のモデルとなった方にゲストティーチャーとして話してもらい、その内容や話しぶりから「地域の発展」に尽くす喜びや充実感などを感じ取らせ、地域発展への意欲を持たせたい。

Bプロジェクト 学習評価と指導の改善の視点から

- 内容項目4－(8)における道徳的態度を育てることを本時のねらいとして設定する。
- 評価の視点として「道徳的価値の理解」「自分とのかかわり」「自己実現への意志」を設定し、それぞれの視点に沿って具体的な生徒の姿を想定した評価内容を設定し生徒の変容を把握できるようにする。本時では「自己実現への意志」の観点を重視する。
- 生徒が自分の考えを基に多様な考え方に触れ、各々の道徳的価値を高める言語活動として、地域の発展のため、自分たちにできることは何か、について話し合う活動を設定する。
- 評価場面では今までの自分を振り返り、これから自分をどのように高めていきたいかを表現できるような言葉かけを行い、できるだけ個に応じた指導と評価を行うようにする。

3 総合単元的な道徳学習計画

第1学年 第1期

テーマ 「大切にしたい、私たちのふるさと」

【テーマ設定の理由】 中学生の時期は自己理解が深まり、自分なりの生き方についての関心が高まってくる。これからの国際社会の中で主体性をもって生きていくためには、広い国際的視野に立ちながらも自己がよって立つ基盤にしっかりと根を下ろすことが必要である。そこで、自分の生まれ育ったふるさとを知り、ふるさとに誇りを持つことで、他の地域や異文化への理解や尊敬の心を育て、世界平和を目指す生き方へとつなげたいと考え、本テーマを設定した。	【中心項目】 4－(8) 郷土愛 【関連項目】 4－(7) 愛校心 4－(9) 愛国心
---	--

時期	各教科	道徳の時間	総合的な学習・特別活動等	生徒の心の動き
9月	英語 「お祭り大好き」 祭りを通して日本の文化や伝統に触れる。 音楽 「パフ」 外国の合唱曲を自分のパートの役割を意識しながら歌う。	みんなのために 4－(7) 愛校心 「合唱コンクール」 学級や学校を愛し、そこでの生活の中で自分の役割を果たして、よりよい学校生活の実現に努めようとする意欲を高める。 心のノート 118, 119	学校行事 「新A L T 歓迎式」 新A L Tに歓迎の気持ちを込めて全て英語で歓迎式を行う。 総合的な学習の時間 「郷土学習(地域調べ)」 校区内にある大浜飛行場について調べ学習を行う。	よりよい学級や学校をつくるために、私たち一人一人が責任を果たさなければならないんだなあ。
10月	家庭科 「地域の食材と食文化」 地域の食材や郷土料理を学び、日本や世界の食糧事情にも目を向ける。 美術 「自然と向き合う日本の美」 自然や季節の美しさを取り入れた日本の美術に関心を持つ。	ふるさとに生きる 4－(8) 郷土愛 「ぼくのふるさと」 郷土に尽くした様々な人々へ感謝の気持ちを持ち、郷土の発展に尽くそうとする心情を育てる。 心のノート 120, 121	学校行事 「合唱コンクール」 学級みんなで心をひとつにして、合唱に取り組む。 学校行事 「文化祭」 郷土学習で調べたことや郷土芸能を発表する。	私たちはふるさとの人たちに支えられ育ってきたんだなあ。自分のふるさとを大切にしよう。
11月	国語 「今に生きる言葉」 中国の古典に由来する言葉が今も生活の中に行き続けていることを知る。 地理 「アフリカ州」 アフリカの自然・文化・産業などの学習を通して、国際協力や日本の役割について考える。	郷土の誇り 4－(8) 郷土愛 「ご先祖様がつくった土地」 自分の郷土を愛し、郷土の発展に尽くしてきた先人に感謝の念を深め、自ら地域社会の発展に努めようとする態度を育てる。 伝統や文化の継承 4－(9) 愛国心 「古都の雅、菓子的心」 日本の伝統や文化に関心を持ち、それを守り発展させようとする心情を育てる。 心のノート 126, 127	委員会活動 「車椅子贈呈式」 1年間で回収したアルミ缶の収益金で地域の老人ホームに車椅子を贈呈する。 生徒会活動 「レッツクリーン作戦」 校区の清掃活動や堤防の草刈りをし、地域に貢献する。	私たちのふるすとはみんなの努力によって発展したんだなあ。私もふるさとのためにできることをしよう。 日本の伝統や文化はすばらしいなあ。大切に残し、自分たちも継承していきたいなあ。

国際的な視野に立ち故郷を愛し、地域の発展に貢献しようとする生徒

4 本時の学習

(1) ねらい

学級やグループで考えを交流し多様な考えを出し合うことで、郷土に尽くした人々への感謝の気持ちを持ち、郷土の発展に貢献しようとする態度を育てる。

(2) 評価

視 点	評 価 内 容	評価方法
道徳的価値の理解	○郷土をつくってきた先人への感謝の気持ちを持ち、郷土の発展のために行動している人の思いについて考えている。	・ワークシート
自分とのかかわり	○郷土の発展のために自分たちにできることは何なのかについて考えている。	・話し合いの様子
自己実現への意志	○郷土の発展に尽くす喜びややりがいを感じ取り、自分も郷土のために貢献したいという意欲を持っている。	・ワークシート

(3) 展 開

過程	学習活動【学習形態】	○主な発問 ・予想される意識	指導上の留意点	備考
導入 (3)分	1 地域の発展とは何かにについて考える 【一斉】	○「地域が発展するためにはどのようなことが大切だと思いますか。」 「あなたがしていることで地域の発展につながると思うことはどんなことですか」等の保護者へのアンケート結果を見る。	○「地域の発展」について具体的なイメージを持たせると同時に、生徒にとって最も身近な存在である保護者が地域の発展について考え行動していることを知らせる。	大型テレビ アンケート結果 (1)
展開前半 (15)分	2 資料「ご先祖様が つくった土地」を聞いて考える。 ・草刈りをするじいちゃんの気持ちを考える。 【ペア】→【一斉】	○資料の朗読DVDを見る。 ◎堤防はもうその役目を終えているのに、じいちゃんはずいぶん草刈りを続けているのだらう。 ・ご先祖様が苦勞して干拓をしてくれたおかげで豊かな暮らしができることへの感謝の気持ちから。 ・ご先祖様の苦勞を忘れないために、ずっと大切にしたい、という思いから。 ・これからもご先祖様の努力を受け継いで、この地域を発展させていく責任があるから。 ・堤防を残しておくことで干拓の苦勞を今後も伝えてほしい。	○干拓地図・潟担い節・堤防の写真を提示し、内容を簡潔に整理する。 ○資料を事前に読ませ、発問について自分の考えをあらかじめ書かせておく。 ○ペアで考えを伝え合った後コの字型で考えを交流させる。 ○堤防の存在が、困難な干拓工事を成し遂げた先祖の努力の結晶であることに着目させたい。 ○じいちゃんの行動が、先祖への尊敬と感謝の表れであることに気付かせたい。 ○自分の友達の考えを比べたりつながりを考えながら発言させることで多様な考え方を出させたい。 【評価：道徳的価値の理解】	朗読DVD 資料写真 学習シート じいちゃん の顔の絵 コの字型
展開後半 (20)分	3 グループで考えを出し合う。 【個人】→ 【4人グループ】 ・グループで話題になったことを発表する。	○地域の発展のため、自分ができることはどんなことだろうか。 ・先祖の思いをさらに受け継いでいく。 ・元気にあいさつをしたり、地域の行事に積極的に参加する。 ・農業・漁業をさらに発展させる。 ・地域の人々と仲良くする。 ・将来、地域の役に立つように今はしっかり勉強する。 ・地域の文化や伝統を大事にする。 ・ゴミ拾いをする。	○生徒のアンケート結果から、ふるさとを誇りに思っている生徒がいることや、地域のために行動している生徒もいることにふれ、自分にできることを考えさせたい。 ○グループで話し合うことで日頃の何気ない行動が地域の発展に役立っていることに気付かせたい。 ○自分たちにできることと、それがなぜ地域の発展につながるのか理由も考えさせることで、行動を価値づけさせたい。 【評価：自分とのかかわり】 ○多様な考えを共有する。	大型テレビ アンケート結果 (2) 学習シート
終末 (12)分	4 ゲストティーチャーの話を聞く。 【一斉】 5 自分の考えをまとめる。 【個】	○資料の中の「じいちゃん」のモデルになった方に来ていただいています。 ○地域の発展について考えたことを書こう。	○実際に活動されている方の話から、郷土の発展に尽くすやりがいや喜びを感じ取らせたい。 ○今までの自分を振り返り、地域の発展に貢献する意欲を持たせたい。 【評価：自己実現への意志】	ゲストティーチャー 学習シート